

経営比較分析表（平成29年度決算）

山形県 寒河江市

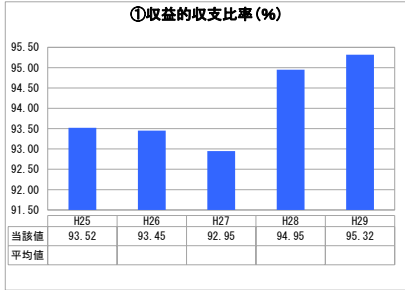
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	73.01	83.88	3,618

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,463	139.03	298.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
30,164	9.39	3,212.35

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



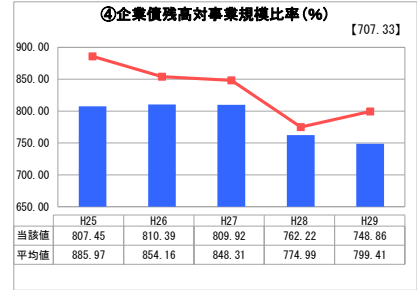
「単年度の収支」



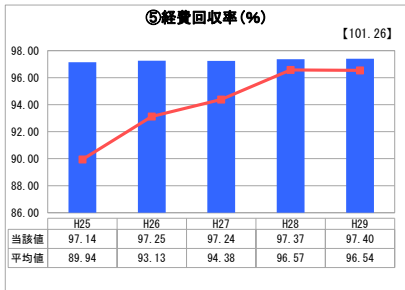
「累積欠損」



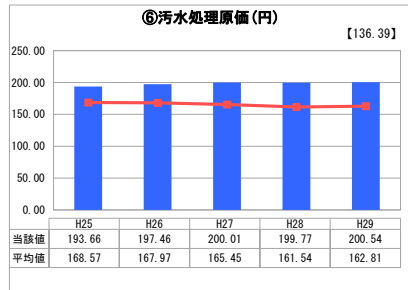
「支払能力」



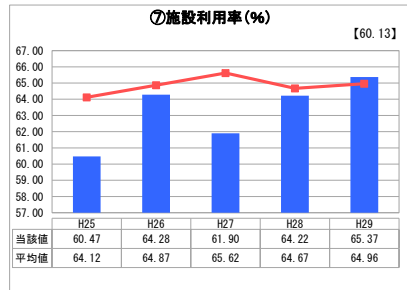
「債務残高」



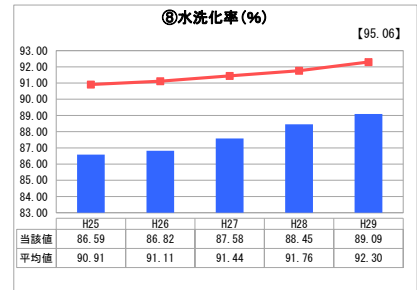
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

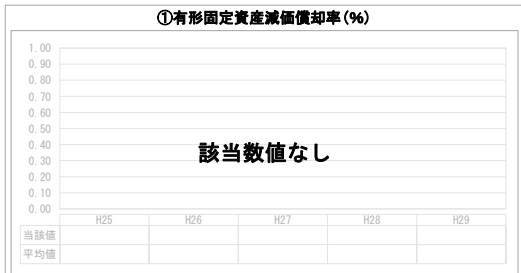


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

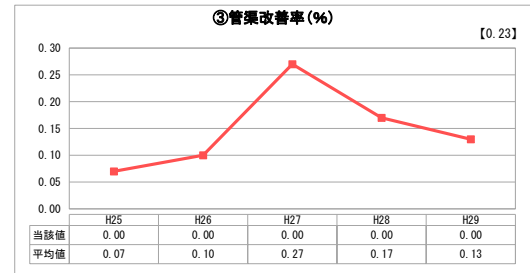
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

大規模施設の接続等により料金収入が増加傾向にあり、今後も中央工業団地等の接続により増加が見込まれるため、単年度収支は改善に進むものと思われる。

債務残高については類似団体の平均値並となったおり、投資規模や料金水準は適切である。また、今後も企業債残高は減少するため、適切な経営を維持できる見込みである。

汚水処理原価については類似団体の平均値を上回っており、今後、汚水処理の効率化や不明水の削減に努めていかなければならない。

施設利用率については水洗化率が向上していることもあり、H29は類似団体の平均を上回っている。

2. 老朽化の状況について

管渠についての更新投資、老朽化対策は行っていないが、敷設から30年を経過する管渠もあることから、今後、基礎調査を行い、20年以上経過する管渠に対して長寿命化計画を策定し、更新を行っていく。

全体総括

当事業においては、大規模施設の接続等による料金収入の増加が見込まれる一方、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加もあり、料金収入のさらなる増加に向けた普及促進が必要となっている。平成25～29年度の水洗化率において類似団体平均値を大きく下回っていることから普及促進活動の強化が急務となっており、今後も戸別訪問等を定期的に行っていかなければならない。

また不明水量が増えている実態もあることから調査及びその削減についても今後の課題となっている。不明水量を削減し、汚水処理経費を減少させることで、100%を下回っている経費回収率の改善に努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。